

星野リゾート 界 熱海 (静岡県 伊豆山温泉)

2016年春に誕生 ご当地部屋「あたま梅の間」特別室



全国で展開している温泉旅館ブランド「星野リゾート 界」には、地域で活躍する伝統工芸などの作家とコラボレーションした「ご当地部屋」があります。この春、古来より熱海で愛されてきた「梅」を題材に、界 熱海の最上階に位置する総畳数32畳の特別室が新たに「あたま梅の間 特別室」（以下、あたま梅の間）に生まれ変わりました。見てよし、香りよし、味わいよしの三拍子揃った「梅」を一年を通じて満喫できるお部屋です。

熱海で愛されている「梅」



温暖な気候の熱海には多数の梅の名所があり、梅は市花として愛されています。別名・春告草の名の通り早春を告げる花ですが、熱海の梅は日本一早咲きとして有名で、例年1～3月にかけて「熱海梅園（界 熱海より車で約10分）」では観梅のイベントが行われます。界 熱海では一年を通して「梅」を感じるご滞在を提案しています。

「あたま梅の間プロジェクト」担い手の声

開発にあたり心がけたのは、“さりげなくあること”。お客様がお部屋で過ごすうちにご自身で気が付かれるような、主張のさじ加減でした。「夜の梅」として歌や絵に描かれるように、外灯のない時代の闇夜においても梅は香りでも自身の存在を示す花でした。その梅の在り方のように、熱海と日本文化、そして梅の持つ内面的な美しさを表現し、五感で味わう部屋を目指しました。この地この宿のこの部屋に滞在するからこそ出会える、控えめでも芯のある魅力を、滞在を通して感じていただけたら嬉しいです。



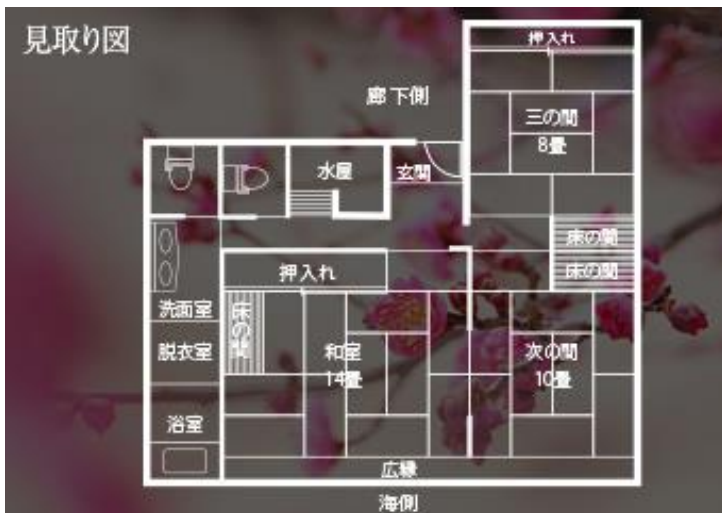
上)「界 熱海」梅の間プロジェクトリーダー：田井千尋

あたま梅の間プロジェクトに強い思いをもって、職人を説得し、自らも豊富にアイデアを出してあたま梅の間を作り上げました。「これまでにない梅の楽しみ方や、更なる作品の作成等、お部屋を進化させる構想が膨らんでいます。」

「あたま梅の間」を彩る、梅の意匠

界 熱海の本館は、江戸創業の伝統旅館。日本の美的感覚の粋を結集させた建物で、間取りから障子枠の大きさまで、同じ部屋はひとつとして存在しない造りです。その中で最上階に位置する特別室だった部屋が、ご当地部屋「あたま梅の間 特別室」として生まれ変わりました。

これまでも細心の気配りを重ねてきた特別室を手がけるには、何よりも芸術性が試されました。余白に情緒を持たせる既存の造りに対して、足し過ぎないように浮かさないよう、バランスに注意してデザインや小物を選定しました。数々の想いを経て、当館のおもてなしを凝縮した1室だけの特別な部屋に進化しました。



「あたま梅の間」各ポイントの解説



駿河竹千筋細工の飾り障子①

「梅とはつぼみ」は紅梅の枝ぶりとお全景をイメージしています。日本画のような左右非対称な横軸のパーツと、縦の筋状の丸ひごが障子紙に落とす陰影も美しい作品です。



駿河竹千筋細工の飾り障子②

「梅ひねりこみ」の技法は、このプロジェクトで新たに開発されました。曲線を描く一筆書きのシルエットは、白梅の花弁の流麗さ・はかなさを表現しています。



駿河竹千筋細工の行燈

数奇屋造りの和室によく合う繊細な竹のシルエットが、灯りをまとうことでくっきりと浮かび上がります。当館オリジナルの行灯も制作予定です。



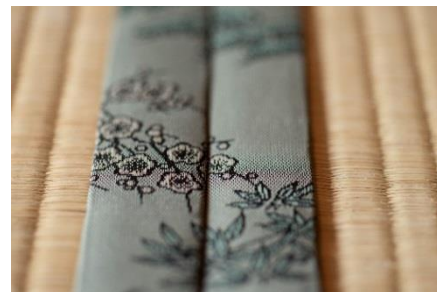
梅のギャラリー

梅柄の馬上グラスや梅のつぼみに見立てた鋳物の急須など、梅を感じさせる工芸品やご滞在のアイテムが並びます。1年を通して華やかさを演出します。



梅香のお出迎え

梅の間に入るとほのかな「梅」の香りが向かえ、梅に包まれる滞在が始まります。陶器には、九谷焼・香炉紅白梅山田龍山を選びました。



大宮縁「梅」の畳縁

「梅」を題材にした風雅な柄がさりげなくお部屋に配置されています。小粋なコーディネートをお楽しみください。

「あたま梅の間」を代表する伝統工芸 ～駿河竹千筋細工～



駿河の竹細工は、精巧な籠枕が東海道を行く参勤交代の諸大名に人気を博し、徳川のお膝元から全国へ広まりました。なかでも特徴的なのが、細く割いた竹を加工した「丸ひご」を、一人の職人が千本の筋のように正確に組み上げる「駿河竹千筋細工」です。ウィーン国際博覧会への出品以降は西欧にも輸出され、1976年に通産省（現経済産業省）指定の伝統的工芸品の指定を受けています。



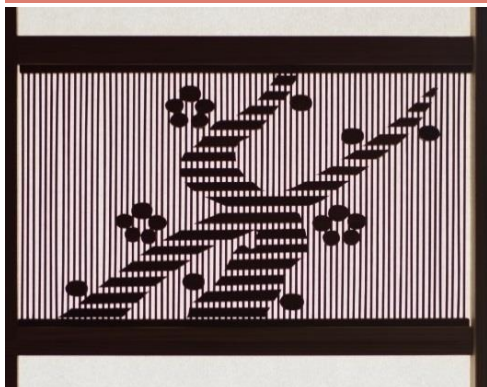
杉山茂靖 氏

細工技術が高い評価を得ている「みやび行燈製作所」三兄弟の一人。江戸時代から受け継がれる独特な技法を駆使しながら、照明作家とのコラボレーションなど新しい取り組みに挑む。新種の気質により現代風に作られた作品は、しなやかに繊細な曲線が落ち着きと柔らかな雰囲気定評がある。

「あたま梅の間」制作過程で生まれた新たな技法

梅の飾り障子は、界 熱海プロジェクト担当スタッフがデザインを起こし、杉山氏が応えたもの。駿河竹千筋細工の技法と魅力をあますところなく詰め込んだ2枚の図案が元になりました。何度も試行錯誤を繰り返し、まったく新しい技法を生み出し、梅の間を象徴するここにしかないモチーフが完成しました。

梅とはつぼみ



梅らしさの追求

試作では花卉が桜に、枝が山水にも見えてしまったことから植物としての桜と梅の違いを研究。枝と花の大きさの対比と分布、花卉の不揃いなサイズなど描く上での重要な特徴に気付くことができました。発見を受け、原案から梅の枝はより細くいびつに、花卉とつぼみはより小さく非対称なデザインに変更しました。

梅を表現する精巧な技術

杉山氏にとって、あえて輪郭をいびつにした枝のパーツに丸ひごの穴を正確に打つこと、限界まで小さい花卉のパーツをつくることは新たな挑戦でした。花卉のパーツのあまりに小ささに指先が削れてしまうなどのトラブルを経て、暖かいエッジがたどる横軸と、筋状の丸ひごが交差する美しい作品「梅とはつぼみ」が完成しました。

不可能とされた5回転への挑戦

しなやかな一筆書きで梅花を描くことは困難を極めました。小さな障子枠の中で1本の竹ひごを5回転させるのは、一方向にしか曲がらない竹の性質上、不可能と思われました。しかし杉山氏は曲げの途中でひねりを加えて反転させる技法を編み出します（「ひねりこみ」と命名）。弧の角度が小さく熱しすぎると割れてしまうため、杉山氏が師匠に一番細いコテを借りに行き試作品を見せたところ「とんでもないことやってのけたな」と度肝を抜かれたという逸話も…。杉山氏の熟練の技術と立体感覚により、流麗な「梅ひねりこみ」が完成しました。

梅ひねりこみ



界 熱海の「梅」を感じるご滞在

ご当地部屋：あたま梅の間



梅の意匠を愛で、熱海の文化に触れる滞在

新たなご当地部屋として誕生したのは、一年を通して温暖な気候の熱海で「日本一早咲き」と言われている梅をモチーフにした「あたま梅の間」。最も眺望のよい最上階の角部屋に位置し、次の間・三の間からなる総畳数32畳の広々としたお部屋に、古来より愛されてきた梅の意匠を随所にちりばめた華やかな空間です。伝統工芸「駿河竹千筋細工」の職人とコラボレーションした梅の飾り障子や灯り、梅香、梅のギャラリーなどの品々がお客様をお迎えます。梅を五感で楽しみ、熱海の梅文化に浸るひとときをお過ごしください。

- 料金：1泊2食付 50,000円～
- 定員：7名様

料理：金目鯛の八香蒸しとあたま梅鍋



特別会席では梅をモチーフにした「あたまの梅鍋」で、しゃぶしゃぶや鍋料理を。季節の会席では隠し味に梅を利かせた「金目鯛の八香蒸し」をお楽しみください。

- 料金（1泊2食付）
季節の会席34,000円～
季節の特別会席
42,500円～

おもてなし：梅マカロン



滞在菓子には梅のマカロンを。フランス菓子のマカロンを梅風味に仕上げました。アーモンドパウダーを使用したマカロン生地とサンドした梅のジャムのほのかな酸味とやさしい甘さが良く合います。

- 梅マカロンは全ての部屋で提供します。

ご当地楽：あたま梅酒サロンと熱海芸妓の舞



あたま梅酒サロン

- 毎日開催（無料）
- 時間：15:00～18:00
- 場所：青海テラス

日本最古のレシピで作るオリジナルの梅酒をはじめ、季節の変わり梅酒や利き梅酒などを体験できます。



熱海芸妓の舞

- 毎日開催（無料）
- 時間：21:00～
- 場所：本館大広間

日本の伝統文化を今に伝える華麗な舞を鑑賞ください。梅の頃には観梅の舞を披露いたします。



星野リゾート 界 熱海（静岡県 伊豆山温泉）

- ・住所：【本館】〒413-0002 静岡県熱海市伊豆山750-6
【別館ヴィラ・デル・ソル】〒413-0002 静岡県熱海市伊豆山759
- ・電話：0570-073-011（界予約センター）
- ・URL：<http://kai-atami.jp>
- ・交通アクセス：【電車】JR熱海駅より車で約5分/【車】小田原厚木道路小田原西ICより約45分
- ・1泊2食付1名様 【本館】34,000円～、【別館ヴィラ・デル・ソル】29,000円～
- ・客室数：全23室【本館】和室16室、【別館ヴィラ・デル・ソル】洋室7室
- ・チェックイン 15時 チェックアウト12時
- ・駐車場 【本館】30台 【別館ヴィラ・デル・ソル】7台

このリリースに関する問い合わせ：星野リゾート グループ広報

TEL：03-5159-6323 FAX：03-6368-6853 E-mail：pr-info@hoshinoresort.com